

# たなべ 田辺市



梅



めじろ



うばめがし



HPアドレス <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

## 市名の由来

2005（平成17）年、田辺市・<sup>りゅうじん</sup>龍神村・<sup>なかへち</sup>中辺路町・<sup>おおとう</sup>大塔村・<sup>ほんぐう</sup>本宮町の5市町村が合併する際に、一般公募の結果から新市の名称として名付けられました。

## 市章の由来

この市章は、1921（大正10）年図案を<sup>けんしやう</sup>懸賞募集し、田辺町章として選定したものを合併前の田辺市が引き継いできたもので、中央部は、田辺の漢字の「田」（大正10年制定）を図案化し、<sup>かがや</sup>輝く星座のごとく田辺市の将来のますます発展することを象徴しています。

## 市の紹介

田辺市は、5市町村が合併して、<sup>きんき</sup>近畿で最も広い市域を有する新市としてスタートをきり、現在では県下第二の都市として、さらには、紀南の中核都市としての役割を担っています。

また、市域には、美しい海、山、川の大自然をはじめ、世界遺産に登録された「熊野古道」や「熊野本宮大社」に代表される古い歴史や文化、日本三美人の湯と知られる<sup>りゅうじん</sup>龍神温泉や日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」などの温泉郷、人々の心と体を癒す豊かな自然環境や、<sup>たさい</sup>多彩で魅力的な地域資源が数多くあります。



水呑王子

こうした歴史や文化、豊かな自然や地域の特性を大切にするとともに、それぞれの魅力を最大限に生かしながら、<sup>きんこう</sup>調和と均衡のとれたまちづくりを進めています。

## 市民憲章

わたくしたち田辺市民は、美しい海・山・川の豊かなめぐみに感謝し、先人たちが築きあげた歴史と文化をうけつぎ、自治と福祉のこころにあふれたまちをつくるため、次のように市民憲章をさだめ、力を合わせてその実行につとめています。

- ・豊かな自然を大切にし、調和のとれた美しいまちをつくりまします。
- ・歴史と伝統に学び、教養を高め、文化のかおるまちをつくりまします。
- ・スポーツに親しみ、心身ともに健康で、希望にみちた楽しいまちをつくりまします。
- ・人権を守り、互いに助け合い、明るく平和なまちをつくりまします。
- ・時と資源を生かし、働くことを喜び、共に栄えるまちをつくりまします。



田辺湾に浮かぶ神島